****

**「わかれて-つづけて」　＆　「不活動」**

**「わかれて-つづけて」**

・競技者がわかれるまで手の平を離し、その後両手を合わせ「つづけて」の合図をおこなう。

・主審が「わかれて」を告げたとき競技者が得点技を出した、そのとき副審は得点の旗表示をして

はいけない。

説 明　「わかれて」と発声し双方の競技者が分かれたことを確認したなら直ぐにその

まま手を下ろすことなく「つづけて」のジェスチャーを行う。①から②までの間に

技を出してはいけない。この間に技を出した場合C2の違反となる。腕の開き

が小さくならないように肩ほどの高さで明確に行う。

　　　　　　　①　　　　　　　　　 　　②　　　　　　　　　　　　③　　　　　　　　　　　　④

　　　　　　******　**

・主審は人差し指を唇にあて副審の同意を得てカテゴリー２の違反を与える。

　説 明　主審は違反した側の選手の方を向く。赤が違反の場合は右手を、青の場合は

左手を唇の前に置く。③主審は同意を求める補助動作をしたあとC2を宣告す

る。副審の旗表示は③のときにおこなう。

　　　　　　　　　　　　①　　　　　　　　　　　② 　 　③　　　　　　　　　　　　④

　　　 　 　　

・競技者が技を出した場合、主審はヤメを掛けカテゴリー２を与える。コンタクトがあればカテ

ゴリー１の両方を与える。

説 明　主審は競技者が過度の接触をした場合、必ずC2（③・④）を先に与え、そのあと

C１（⑤・⑥）を宣告。いずれの場合も副審に同意を求める。

 　①　　　　　　　　　 　　②　　　　　　　　　　　　③　　　　　　　　　　　　　④

   

 　　⑤　　　　　　　　　　　⑥

 　

・「わかれて-つづけて」は競技時間の開始から終了するまでの間、使用することができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（15秒未満を含む全競技時間）

・「つづけて」＆「不活動」は15秒未満で使用することはできない。

**「不活動」**

・不活動は得点、又は先取でリードしている競技者に与えることはできない。

**青　　　 　　　赤　　　　　 カテゴリー２**

**―**

　　　　　　　　　０ 　　　０ 赤と青の両者

**―**

　　　　　　　　　　　　　３　 　　３　 　 　赤と青の両者

**―**

　　　　　　　　　 　２　　 　　　 １　 　　　　赤のみ（同時得点・先取なし）

**―**

　　　　　　　　　　　✓ ２ 　 　　　２　 　 　　赤のみ

**―**

　　　　　　　　　　　✓ 1 　 　　　５　　　　 　青のみ

・両方に与える場合

不活動の補助動作を行い、両方の競技者にＣ２の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー２を

与える。

 説 明　主審は腕を回し、同時に両手で②の動作を行う。そのあと手を下ろし、それぞれ

　　　　　　（③・④）にＣ２を宣告。副審は②の動作のとき、同意をするなら旗表示を行う。

 ①　　　　　　　　 　　　②　　　　　　　　　　　　③　　　　　　　　　　　　　④

    

・片方に与える場合

不活動の補助動作を行い、どちらか与える側の競技者にＣ２の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー２を与える。

 説 明　副審は主審の②の動作の時に同意をするなら旗表示を行う。その後C2を

　　　　　　　　　　宣告。　②の場合は同意を求める補助動作。③で宣告。

 ①　　　　　　　　 　　　②　　　　　　　　　　　　 ③

　   

2022年４月１日

（公財）全日本空手道連盟審判委員会

委員長　高橋　和夫